「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」議員別ご回答結果

一般社団法人全国がん患者団体連合会（全がん連）は、2016 年６月１日より全ての国会議員の皆様を対象に、「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」を実施しました。

本用紙は、ご回答をいただいた国会議員の皆さまについて、議員別にその内容を記したものです。がん対策の推進に関心をもっていただき、ご回答をいただいた議員の皆さまに感謝申し上げます。国会議員のご回答一覧は、全がん連ホームページで公開しています。（ホームページアドレス：http://zenganren.jp/）

――――――――――――――― 国会議員アンケートご回答結果ここから ―――――――――――――――

国会議員名

真島　省三　（衆議院議員／共産／比例九州）

問１　超党派議連「国会がん患者と家族の会」より提案される予定の「がん対策基本法改正案」について、次の臨時国会での早期成立が必要と考えますか？

☑ はい　　☐ いいえ　　☐ その他

【その他の場合のコメント】

問２　第 24 回参議院議員通常選挙（6 月 22 日公示、7 月 10 日投開票）に関して、政党のマニフェスト（選挙公約）などで「がん対策の推進」に関する内容が重視されるべきと考えますか？

☐ はい　　☐ いいえ　　☑ その他　（　　）

【その他の場合のコメント】 がん対策とともに誰もがお金の心配なく安心して必要な医療が受けられるよう社会保障制度の抜本拡充は急務です。

問３　がん対策の推進に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

【自由記述欄】 がん患者の３人に１人は働く世代です。仕事と治療の両立ができるよう支援策の構築に党派をあげて取り組みたい。